

財団法人 朝鮮奨学会  
2011年度 大学・大学院奨学生募集要項

No.39 2011.4.5

大学推薦

大学締切日 ~~4/14(木)~~

4月28日(木)

### 1. 応募資格

次の事項に該当する者。

- ①日本の大学の学部（短期大学も含む）および大学院の正規課程に在籍している韓国人・朝鮮人学生（外国人登録上の国籍表示が韓国もしくは朝鮮、本国からの留学生も含む）。
- ②成績が優良で学費の支弁が困難な者。
- ③他の奨学金を受給していない者（本会奨学金と同額未満の給与奨学金、「日本学生支援機構」等の貸与奨学金、学内奨学金は受給していても応募できる）。

※ 学部生の応募は2学年以上。

#### 2010年度本会の大学・大学院奨学生であった場合

- ・進級して学部および修士課程・博士課程・専門職課程に在学している者は継続生として応募できる。
  - ・進学して修士1年生もしくは博士1年生になった者は新規大学院生として応募できる。
  - ・短期大学卒業後、4年制大学の3年生以上に編入した者は新規生として応募できる。
- ※ 留年した者、学部を卒業して学士編入した者は応募できない。  
※ 2010年度に採用された者でも辞退した場合は新規応募となる。

#### 2010年度本会の大学・大学院奨学生でなかった場合（新規生として扱う）

- ・学部（短期大学、医・歯・薬・獣医系の6年制大学も含む）の2学年以上に在籍する者。
  - ・大学院の修士課程・博士課程・専門職課程に在籍する者。
- ※ 韓国人留学生の新規応募については、「5. 応募方法」の「②留学生」を参照すること。

- ◇ 新規の応募者については2011年4月1日現在、学部生は満30歳以上、大学院生（修士・博士・専門職）は満40歳以上の場合、応募できない。
  - ◇ 大学院において各課程の最短履修年限を超えて在籍している者は応募できない。
  - ◇ 本国からの留学生で、交換留学生として在学している者は応募できない。
  - ◇ 研究生、別科生、専攻生、聴講生は応募できない。
- ※ 学部生の学業成績は、修得総科目の成績評価値が原則として2.7以上であること（優=5、良=3、可=1とし、その平均値とする）。

### 2. 奨学金金額と募集人数

	学部生	月額 25,000円	650名(継続生・新規生)
大学院生	修士課程・専門職課程	月額 40,000円	100名(継続生・新規生)
	博士課程	月額 70,000円	

### 3. 給付期間

奨学金の給付期間は1年間（4月～翌年3月まで）である。

- ◇ 6年制（医・歯・薬・獣医系）の学部生の最長受給年限は4年間である。
- ◇ 博士課程（博士後期課程）の最長受給年限は2年間である（2010年度新規生から適用）。

※ 継続して奨学金の受給を希望する場合は、翌年度に再応募し審査を受けなければならない。

### 4. 募集期間

~~2011年4月1日(金)～5月2日(月)消印有効~~

※ 締切日当日または前日の場合は速達にすること。

## 5. 応募方法

- ① 特別永住者等（永住者、定住者、家族滞在などを含む）

期間内（消印有効）に、後記の本会あてに応募書類を一括して必ず**特定記録**で郵送すること。

A4サイズの封筒（角形2号）を使用し「願書在中」と朱書きすること。

- ② 留学生

継続応募者は①と同じ。新規に応募する場合は各大学の奨学金担当の部署を通じてのみ応募できる。**個人で直接応募できない**ので注意すること。大学ごとに募集方法や書類の提出期日が異なるので、大学の担当部署に問い合わせること。

※ 関西地域（滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山）の大学に在学している者は関西支部に、それ以外の地域は本部に郵送すること。本会事務所の窓口で直接の受け付けはしない。

※ 日本国外から送る場合は、EMS（国際スピード郵便）など伝票が手元に残る方法で郵送すること。

## 6. 応募書類

- ① 大学・大学院奨学生願書 1通(本会所定様式:4 ページ 写真貼付:タテ 4.5 cm×ヨコ 3.5 cm)  
② 研究計画書(大学院生のみ) 1通(本会所定様式:既発表論文がある場合は添付すること)  
③ 在学証明書 1通(2011年4月1日以降発行)  
④ 学業成績証明書 1通  
⑤ 推薦書 1通(本会所定様式:親展にすること)  
⑥ 外国人登録証明書の複写 1枚(A4判用紙を使用すること。登録原票記載事項証明書も可)  
⑦ 収入・所得に関する書類 A 特別永住者等(永住者、定住者、家族滞在などを含む)の場合

③⑤⑧⑨は要

・給与所得者は「源泉徴収票」

・給与所得以外は「確定申告書(控)」(税務署の受付印があるもの)、

もしくは「申告内容確認票(電子申告)」(受信通知又は即時通知を添付)

・主たる家計支持者が収入の無い場合や年金受給者等の場合は「所得証明書(市町村役場発行)」を提出すること。

※主たる家計支持者のみ提出すること。

※上記書類はコピーでも可とする(A4判用紙を使用すること)。

### B 留学生の場合

・収入等に関する調査書(本会所定様式)

- ⑧ 返信用封筒 1通(新規大学院生のみ2通一定形長形3号23.5 cm×12.0 cm)  
(応募者の郵便番号、現住所、姓名を表書きし90円切手を貼付すること)

- ⑨ 応募書類チェックシート 1通(本会所定様式)

## 7. 願書請求方法

願書等、所定の用紙は本部・関西支部で配布する。また本会ホームページからダウンロードできる。郵送を希望する場合は、現住所と姓名を表書きしたA4サイズの封筒（角形2号 140円切手を貼付）を同封して請求すること。

## 8. 選考と結果

書類審査と必要により面接審査を行う。面接を行う場合は別途通知する。選考結果は継続応募者は6月中旬、新規応募者は7月下旬までに大学と応募者本人に文書で通知する。

選考結果（「採用」及び「不採用」）についての問い合わせには応じない。また、提出した応募書類は返却しない。

※ 本会の奨学金は給付制であり返還の義務はない。採用された学生は本会の諸行事に出席しなければならない(遠方地は考慮する)。

**【応募締切日(奨学金申込書・財団指定用紙)】 ※ラウンジでのTAによる受付はできません。**

国際教育事務室(駿河台キャンパス) ~~4月14日(木)~~ 17:00まで **4月28日(木) 17:00まで**

国際教育事務室(和泉キャンパス) ~~4月14日(木)~~ 17:00まで **4月28日(木) 17:00まで**

生田キャンパス課(生田キャンパス) ~~4月14日(木)~~ 16:30まで **4月28日(木) 16:30まで**

\* 大学指定奨学金申込書(黄色の用紙)、財団指定用紙提出先 及び 問い合わせ先: 国際教育事務室 tel.03-5300-1542

\* 財団指定用紙及び大学指定奨学金申込書(黄色の用紙)は必ず一緒に提出すること。

\* **★印の書類については、大学推薦が決定した者のみ提出します。申込時には不要ですが決定後すみやかに提出できるよう準備してください。**

**また推薦状が必要な奨学金の場合は、推薦決定後すみやかに推薦状が提出できるようにするため、事前に指導教員等に推薦状の作成依頼をしておくこと。**

※事務処理欄①（記入不要）

受付日 月 日	受付No.	応募者 ID	本部/支部/地方	大学院/学部	願 写 研 在 成
			奨学生番号		推 外 収 封 チ

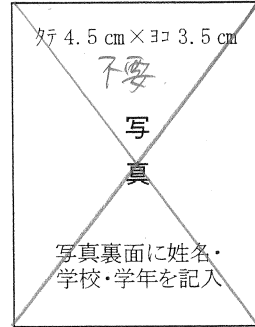
2011 年度

財団法人 朝鮮奨学会  
大学・大学院奨学生 願書

※注意「記入の手引き」を参照に、必ず本人が記入すること。

姓名	(漢字)	(ハングル)	性別	男 ・ 女
	(通称名)	カタカナ読み		
生年月日	1 9	年 月 日	年齢	満 歳
外国人登録上の国籍	韓 国 ・ 朝 鮮		在留資格	特別永住者 永住者 定住者 家族滞在 留学 その他 ( )
本籍地	道	市 郡		
出生地	都道府県	渡日年月	年 月	(滞在 年目)

継 続 | 新 規



在学 校名	国立 公立 私立	大学院 大学 短期大学	事務 処 理 欄 ②	学 推 連 絡 着 日	有・無 済・未 /
	通学するキャンパスの所在地 (院生は研究室の所在地) (最寄り駅 )			備 考	
課 程	研究科 学 部	専攻 学 科	博士/修士 専門職 学部/短大	(4月現在の学年) 年	
	(1 昼間部/2 夜間部)	( 年 月 入学・編入学	年 月 卒業予定)		

現住所	〒 一 都道 府県 (アパート名等)	電話 番号	自宅 ( )	—
		号室	携帯 ( )	—
通学状況 ①自宅通学 ②自宅外通学 寮・アパート・間借り・親類宅・その他 ( )				
帰省地	〒 一	電話番号 ( )	—	
	自宅住居	①持家 ②賃貸 公営住宅・借家・アパート・マンション・その他 ( )		

保証人	姓 名	年 齢	歳	本人と の 関 係	
	現住所				
	本籍地	職 業			

経歴について

学 歴			
年	月	小 学 校	卒業 (所在地 )
年	月	中 学 校	卒業 (所在地 )
年	月	高等学校	卒業 (所在地 )
年	月		
年	月	大 学	学部 学科入学
年	月		
年	月		
年	月		
職歴・団体役歴			
年	月		
年	月		
年	月		
年	月		
母 国 語 理 解 度		部 活 ・ サ ー ク ル	資 格 ・ 免 許
理解 できる	ある程度 理解	理解 できない	趣味・特技
卒 業 後 希 望 進 路	1. 進学・留学 ( )		
	2. 就職 日系企業 外資系企業 同胞系企業・団体 その他 ( )		
	3. 家業・家事従事 ( )		
	4. その他 ( )		

学業成績について※小数第2位を四捨五入

学部生は1年次からのすべての成績。

修士課程・専門職課程1年生は学部時の全学年度の成績、2年生以上は修士課程・専門職課程の全学年度の成績。

博士課程1年生は修士課程の全学年度の成績、2年生以上は博士課程の全学年度の成績。

成 績			科目数	×評価点= 計
秀、優	A <sup>+</sup> 、A	80点以上		× 5 点 =
良	B	70~79点		× 3 点 =
可	C	60~69点		× 1 点 =
合 計			(a) 科目数合計	(b) 点数合計

\* 合格・認定の科目は除く。 … (合格・認定科目数: 科目)

\* 教職科目等資格取得のための科目は除く。 … (資格取得のための科目数: 科目)

成績評価値	
(b) <input type="text"/>	= <input type="text"/> 点
(a) <input type="text"/>	

取得単位	卒業に必要な単位
<input type="text"/>	<input type="text"/>
単位	単位

家族および家計

本人を除く家族 全兄弟姉妹記入	続柄	姓名	年齢	職業（会社名等・業種・職責）・学校名（学年）		同居 別居		
	父					同・別		
	母					同・別		
						同・別		
						同・別		
						同・別		
						同・別		
主たる 家計支持者	続柄	姓名	職業（会社名等・業種・職責）	自営の場合 従業員数	年間収入・所得			
その他 収入・所得 のある家族					万円			
					万円			
					万円			
自宅生（1カ月の平均）				自宅外生（1カ月の平均）				
収入	家族からの援助（学費を除く）			円	収入	仕送り（学費を除く）		円
	奨学金（ ）			円		奨学金（ ）		円
	アルバイト（ ）			円		アルバイト（ ）		円
支出	交通費			円	支出	家賃（光熱費を除く）		円
				円		交通費		円

学費について

↓該当するものに○をしてください。

授業料（年額）	施設費・実習費等	入学金	授業料（免除・減免）		学内奨学金	
円	円	円	今年度 ①なし ②申請中（ %）	今年度 ①なし ②申請中	今年度 ①なし ②申請中	今年度 ①なし ②申請中
			昨年度 ①なし ②あり（ %）	昨年度 ①なし ②あり	昨年度 ①なし ②あり	昨年度 ①なし ②あり

他奨学金への応募について \*学内奨学金を除く

今年度	①応募していない ②応募・受給している		奨学金名		応募中 受給中	貸与 給与	月額	円	受給期間	月頃決定 年間
			奨学金名		応募中 受給中	貸与 給与	月額	円	受給期間	月頃決定 年間
過去	①ある	奨学金名	貸与・給与	月額	円	受給年度	年			
	②ない	奨学金名	貸与・給与	月額	円	受給年度	年			

本会奨学金への応募について \*該当する場合のみ記入すること

応募者本人の兄弟姉妹や配偶者で、今年度本会奨学金に応募している者	姓名	続柄	学校名・学年		所在地（都道府県）							
	姓名	続柄	学校名・学年		所在地（都道府県）							
	姓名	続柄	学校名・学年		所在地（都道府県）							
応募者本人の過去の応募または受給について（○をつける）	年度	2010	2009	2008	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	それ以前の応募・受給
院：大学院	応募	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	
大：大学	受給	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	
高：高校		院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	院大高	

## 奨学金応募理由

姓 名	大 学 名	学部／研究科	課 程	学 年
			博士・修士・専門職 学部・短大	
奨学金応募の理由（家庭事情等を具体的に記入すること）				
入学の動機、学業状況、大学生活の目標と進路、自己PR等（写真等の貼付可）				

[①願書4/4]

# 研 究 計 画 書 (大学院生のみ提出すること)

年 月 日 記入

姓 名	大 学 名	研 究 科 名	課 程	学 年
			博士 修士 専門職	
(専門職課程の在籍者は学習の計画・状況を記入して下さい)				
研 究 計 画 ・ 研 究 状 況				



年 月 日

## 収入等に関する調査書

◆留学生(在留資格が「留学」の方)のみ提出すること。

### ◇家族経済状況

家計支持者	続柄	姓名	年齢	職業(会社名・業種・職責)等※2	年間収入※3
※1	父				
	母				

※1:本人と同一生計で収入・所得がある家族全員を記入すること(本人及び既婚の兄弟姉妹<別生計>を除く)。ただし応募者本人が主たる家計支持者の場合は、本人のものを記入し、既婚の場合は配偶者・子ども等も記入すること。

※2:アルバイト、年金などの収入がある場合はその旨を職業欄に記入すること。

※3:給与所得者(会社員・アルバイト等)は収入、給与所得者以外(自営業者等)は所得(収入から必要経費を差し引いた額)、年金受給者等は収入(控除前の額)とし、昨年(2010年1月1日～2010年12月31日)の金額を記入すること(応募時点の為替レートで換算し、円で記入)。

### ◇本人経済状況

本人の月額収入の合計(A+B+C+D)	円	
A. 仕送り額 ※1	円	
B. アルバイト( ) ※2		円
C. 給与制奨学金( ) ※3 貸与制奨学金( )		円
D. その他の収入( ) ※4		円

※1:1カ月のおおよその金額(予定額でも可)を記入すること。

※2:複数の場合はその合計金額を記入すること(予定額でも可)。

※3:2011年度に受給予定(受給が決定しているもの)の奨学金名を記入すること。

※4:預貯金引き出しや親族などからの借入金、配偶者収入も含む。

以上のとおり記載事項に相違ありません。

年 月 日

本人 姓名 \_\_\_\_\_ (自署)

[⑦収入等に関する調査書]